



SUSTAINABILITY TOPICS

ニッコンホールディングスグループ

2025年1月10日
株式会社オートテックジャパン

AIによる車両検知システムで視覚障がい者支援機器を開発

オートテックジャパン(ATJ)は、この度、視覚障がい者向けに電気自動車(EV)の接近を振動で知らせる歩行者支援機器のプロトタイプを開発しました。

音響検知システムに車両接近通報音を学習させたプロトタイプ機器は、リュックに組み込まれており(写真)、人工知能(AI)が雑踏の中からEVの通報音を検知し、リュックの肩ベルトに装着したワイヤーが振動して歩行者に知らせる仕組みです。今後はさらなる性能向上や小型化を目指します。

ATJは通報音の認知度を高めるため、2023年より栃木県立盲学校の生徒向けに交通安全教室を開催しており、2025年からは福井県立盲学校でも開催を予定しています。

今後も、目の不自由な方々が安心して交差点を渡れる社会を実現するために研究開発を進めてまいります。



肩ベルトに装着したワイヤーが振動することでEVの接近を知らせます。



リュック内に組み込まれた機器(プロトタイプ)